



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp



令和4年(2022年)  
4月5日  
火曜日  
第246号

## ふじのくに「有徳の人」づくり大綱 & 静岡県教育振興基本計画

(期間2022年度～2025年度)

静岡県では、本県の教育の理念や施策の基本方針を示した「ふじのくに「有徳の人」づくり大綱」と、大綱を踏まえて今後4年間で取り組むべき施策をまとめた「静岡県教育振興基本計画」を策定しました。

大綱及び基本計画の全文はこちら



### ふじのくに「有徳の人」づくり大綱

本県における教育の基本理念を全ての県民が共有し、社会全体で「有徳の人」づくりに取り組むため、「有徳の人」づくり宣言をします。

### 基本理念：「有徳の人」の育成 ～誰一人取り残さない教育の実現～

「有徳の人」の育成に向けては、この地に暮らす誰もが人生の夢を実現し、幸せを実感するための基盤となる「誰一人取り残さない教育の実現」に全县を挙げて取り組んでいくことが重要です。

“ふじのくに”における教育の基本理念を全ての県民と共有し、社会全体で「有徳の人」づくりに取り組みましょう。

#### 「有徳の人」って、どんな人？

- ◆知性・感性・身体能力など、自らの個性に応じて「才」を磨き、自立を目指す人
  - 様々なことに興味・関心を持ちながら、自らの個性を生かし、自らの知性・感性や身体能力等を高めるために努力し続ける人
- ◆多様な生き方と価値観を認め、自他を大切にしながら「徳」を積む人
  - 生き方や価値観の違いを認め合い、他人を思いやる気持ちはもとより、自分や自分の住んでいる地域、人だけでなくモノや自然などを大切にする姿勢を磨き続ける人
- ◆「才」を生かし「徳」を積み、社会や人のために貢献する「才徳兼備」の人
  - 自らの個性を生かし、自他を大切にする心を持って、時には助け合いながら、社会や人のために行動する人

#### 「有徳の人」づくり宣言

- 一、「文・武・芸」三道の鼎立を実現します。
- 一、生涯にわたって自己を高める学びの場を提供し、多様な人材を生む教育環境を実現します。
- 一、地域ぐるみ、社会総がかりの教育を実現し、「才徳兼備」の人づくりを進めます。

### 静岡県教育振興基本計画

「ふじのくに「有徳の人」づくり大綱」の基本理念を踏まえ、今後4年間で多様な人材を育成するために取り組む教育施策をまとめました。

#### 第1章 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

子ども一人ひとりの個性に応じて才能を伸ばし、磨いていくためには、学問を学ぶ(文)、スポーツに親しむ(武)、芸術を愛する(芸)ことを等しく大切にする教育が重要です。

- ① 「知性」・「感性」を磨く学びの充実
- ② 「技芸を磨く実学」の奨励
- ③ 学びを支える魅力ある学校づくりの推進



#### 第2章 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

多様性を認め合い、誰もが人間らしく、幸せに暮らせる社会が求められています。個人の能力や個性に応じて、それを伸ばしながら、地域社会で活躍する多様な人材を育てていくことが活力に満ちた地域づくりにつながります。

- ① 多様性を尊重する教育の実現
- ② グローバル・グローバル人材の育成
- ③ 高等教育の充実
- ④ 生涯を通じた学びの機会の充実



#### 第3章 社会総がかりで取り組む教育の実現

教育課題が多様化・複雑化しており、教育を学校の先生だけに任せることなく、地域の子どもは地域の大人が育てるという考えに立つことが必要です。

- ① 社会とともにある開かれた教育行政の推進
- ② 地域ぐるみの教育の推進



【総合教育課・教育政策課政策企画班】



# 令和4年度「教育行政の基本方針」

静岡県教育委員会では、新たな「ふじのくに『有徳の人』づくり大綱」に基づき、一人ひとりの中にある「才」と「徳」を高めることを通じて、本県の未来を担う「有徳の人」の育成を社会全体で推進していきます。

令和4年度は、大綱を踏まえた新教育振興基本計画に基づき、誰一人取り残さない教育の実現に向け、人それぞれに異なる価値観や特性などの多様性を尊重しながら、他者と協調して新たな価値を創造する力の育成に向け、以下の取組を学校・家庭・地域の連携・協働の下、重点的に推進します。

## I 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

### 1. 「知性」・「感性」を磨く学びの充実

児童生徒一人ひとりの能力を最大限に発揮させるとともに、学びに向かう力・人間性、他者と協働する力を高める教育を推進します。

#### 個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化

- 教員等が情報を共有し高め合うプラットフォーム構築、学校と地域をつなぐコーディネート人材育成

#### ICT等の活用による新たな学びの展開

- 学びの個別最適化や校務効率化に向けた「スクールDX」推進とサポート体制の充実

#### 乳幼児の教育・保育の充実

- 特別な配慮を必要とする幼児等への対応に係るモデル実証や幼児教育サポートチームの設置

#### 子どもの読書活動の推進



### 2. 「技芸を磨く実学」の奨励

児童生徒が生き方や仕事に対する価値観について考え、希望する進路を実現できる力を育みます。また、スポーツに親しむ環境づくりや体力の向上を図ります。

#### 社会的・職業的自立に向けた教育の推進

- キャリア・パスポートの活用等による、児童生徒が自身の能力を肯定的に捉える機会の創出

#### スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進

- 児童生徒の体力の現状分析を踏まえた改善、オリ・パラ選手の講演等による運動意欲向上

### 3. 学びを支える魅力ある学校づくりの推進

安定した教育基盤の整備や、時代に対応した多様で魅力ある学びの場づくりを進めます。

#### 高等学校の魅力化・特色化

- 多様な学習ニーズに対応するオンリーワン・ハイスクール、演劇・スポーツなど新学科設置等の推進
- 中山間地の小規模校における、地域と連携した生徒の全国募集
- 「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画」の取組検証と新しい県立高校の目指す姿の検討

#### 教職員の資質向上及び学校マネジメント機能の強化・学校における働き方改革の推進

- 教員育成指標に基づく教職員の資質向上、第三者の視点も踏まえたコンプライアンスの徹底
- 学習・校務を可視化・連携させるシステム(LMS)を活用した働き方改革の検討

#### 学校施設等の安全・安心の確保

- 学校施設の計画的な整備・建替え・長寿命化改修、特別支援学校の施設狭小化解消



## II 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

### 1. 多様性を尊重する教育の実現

多様な価値観を認め、互いに支え合う教育を推進するとともに、課題を抱える子どもたちを誰一人取り残すことのないよう、支援体制の充実を図ります。

#### 人権を尊重する教育の推進と人権文化の定着・多様な課題に応じたきめ細かい支援

- ヤングケアラー等、困難を抱える児童生徒等への教育・福祉が連携した学びの支援
- 様々な課題を抱えた高校生の居場所(サードプレイス)として校内居場所カフェの設置

#### 特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実

- 人工呼吸器着用児の保護者付添いの負担軽減に向けたモデル事業の実施

#### 外国人県民・外国人児童生徒への教育の充実

### 2. グローバル・グローバル人材の育成

グローバルな視点と地域への関心を併せ持ち、国際社会や地域に貢献できる人材を育成します。

#### 国際的な学びと地域学の推進

- 県立高校への国際バカロレア教育の導入推進

#### 優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実

#### 地域産業を担う人材の育成

- 産業界から専門高校にCEOや技術者を招聘する「マイスター・ハイスクール」事業の推進

### 3. 生涯を通じた学びの機会の充実

誰もが心豊かな人生を送れるよう、生涯にわたって学び続けられる環境づくりを推進します。

#### 全世代に対する学びの機会の充実・誰もが共に学ぶ機会の充実

- 新県立中央図書館の整備推進、新しい生活様式やDXに対応した機能の充実
- 県立夜間中学(ナイト・スクール・プログラム)開設(R5)に向けた準備

## III 社会総がかりで取り組む教育の実現

### 1. 社会とともにある開かれた教育行政の推進

地域や学校・市町の多様なニーズ、社会全体の意見を反映した開かれた教育行政を推進します。

#### 社会全体の意見を反映した教育行政の推進、市町と連携した教育行政の推進

### 2. 地域ぐるみの教育の推進

複雑化・多様化する教育課題の解決に向け、学校、家庭、地域、企業等の連携・協働を進め、地域ぐるみで子どもたちの学びや育ちを支える環境づくりに取り組みます。

#### 学校・家庭・地域の連携推進・家庭や地域における教育力の向上

- 地域住民・大学生等の協力により学習支援等を行う「しずおか寺子屋」の拡大
- 寄附金を活用したグローバル・グローバル人材育成等に向けた取組



実践NOTE

# バランスのよい朝食を目指して

伊東市立門野中学校 栄養教諭 西島 智香子

伊東市では毎年朝食調査を実施しており、今年度10年目を迎えました。そこで、この1年間朝食をテーマに食に関する指導を行ってきました。

## 朝食を自分の事として捉える

まず中学1年生を対象とした指導を実施しました。小学校で学んできた知識に加え、エビデンスに基づいた知識の構築・定着を図り、朝食の大切さについて問いかけてきたが、理由はよくわかっていなかった。これからはバランスを意識して

## 実態の把握

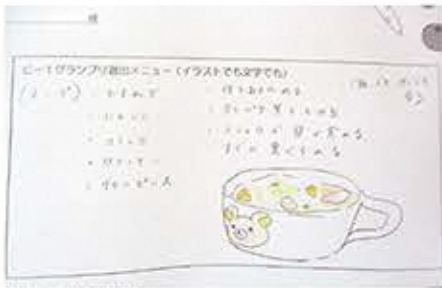
現在の門野中学校の朝食摂取率は97%です。継続して朝食調査と指導を行ってきたことで、10年間高値を維持しています。しかし、バランスのよい朝食、特に緑色の仲間の摂取率低値が、門野中学校の課題とわかりました。そこで朝食内容を改善し、自らを管理していく能力を身に付けることを目標に指導を行いました。

中学2年生対象の授業では、「自分で用意ができる」をテーマとした「朝食ピーワン(ビタミン・グランプリ)」を開催し、朝食のバランスをより自分事として捉えられるように仕掛けました。ビタミン(野菜・きのこ類・果物)を取り入れることに抵抗がある生徒や、自分で用意するという点に悩む生徒もいました。



授業中の筆者

しかし、他の生徒の意見を聞くことで、「これなら



生徒の考えた朝食

これからも生徒の実態把握と課題を明確にし、自らを管理していく能力を身に付けられるよう食に関する指導を実践していきたいと思っています。



朝食のおたより



授業中に質問をする姿

振り返りには、「今日考えた料理を家で試してみたい」という意見が多く、「意外と簡単だった。次は違う料理に挑戦してみよう」と実践に移す生徒の姿が見られました。

## 小中一貫の健康指導

門野中学校区では、各校の養護教諭と協力し、毎月健康に関する内容の指導を行っています。市内の栄養教諭・栄養士の協力のもと、おたよりと映像を作成し、小中一貫の継続した指導を行っています。

## 読みたくなるおたよりの作成

朝食の内容は生徒だけの力では改善が難しい問題です。そこで、給食だよりを活用し、朝食について家庭への啓発を行いました。文章を簡潔にしたり、イラストやグラフを使ったりし、読みたくなるおたよりを目指しました。

実践NOTE

# ICT機器を活用した遠隔授業による学びの深化

静岡県立中央特別支援学校 教諭 田宮 幸根



著者

## ICT機器を活用した遠隔授業

高等部I類型(高等学校の教育課程に準ずる課程)は、学年ごとの人数が少ない(今年度は2、3年生それぞれ2人ずつ)ため、学習場面において細かなところまで教師の目が行き届くというメリットがあります。一方で、人数が少なく意見交換が弾まずに学びが深まりづらいという課題もあり、本校以外にも似たような状況が見られる学校があります。そこで、2年前から「ICT機器を活用した遠隔授業による学びの深化」をテーマに、東部特別支援学校の5人の生徒と交流授業を行ってきました。



Jamboardの使い方について

「慣れない相手とのコミニケーションに消極的になる生徒が多い」という事情も考慮して、Jamboardというツールを活用して交流することとしました。Jamboardに課題に対する自分の意見を書き込んだり、他者の発表資料に質問をしたりするなど、意見交換の場を設定しました。Zoomも活用して意見交換は、換も行いました。



Zoomを活用した数学交流授業

自分の意見を持った生徒たちは、教員の「話し合ってごらん」の声をきっかけに、自分の考えをしっかりと相手に伝えることができている様子が見られました。また、話し合いを進めるにつれて、相手の意見と共通するものや散布図を見て相関の強弱の感じ方の違いを認識し、「より確かな関係の確認方法は、か」と考える場面も見られました。遠くの異なる教室



実習報告会

でも、対話し思考する生徒たちの姿がありました。

## 今後の課題

学びの深化のためには、生徒が思考する必要があると思います。思考を促す発問の他にも、生徒が思考した内容を発信したり、他者の思考を受信したりしてさまざまな意見に触れることで、お互いの意見の関係や違いに気づくことも大切だと思います。そのような気づきをノートやワークシート等を見ることが他者同士の対話からヒントを得るといった力も必要になります。遠隔授業の中でこうした力をつけるために、私たち教員は、



# 高校生被災地訪問

- 12月23日から25日、本県高校生20人が東日本大震災の被災地を訪問しました。被災地訪問は今回で10回目。新型コロナウイルス感染拡大のため、8月の訪問が延期され、初めての冬の訪問となりました。
- 「大川小学校でお子さんを亡くした方から当時の状況を聞く」「被災した方々の御自宅に泊めていただく」等の生身の交流を通じて、「震災の教訓を風化させず、より多くの人に伝えるためにはどうしたらいいか」という参加者同士の活発な意見交換が行われました。
- こうした貴重な経験が、各学校で行われる成果報告会を通じて同世代の高校生に共有されることで、将来の地域防災の担い手が育成されることを期待しています。



民治家庭



陸前高田市立気仙中学校

【健康体育課】TEL 054-221-2740

# 保護者同士のつながりをつくり、不安や悩みを解消する

## 交流会型 家庭教育講座を開催しませんか？

コロナ禍の影響で、保護者同士が顔を合わせる機会が減り、つながりづらい状況にあります。不安や悩みの軽減には、保護者同士が語り合い、共感し合う「交流会型家庭教育講座」が有効です。感染予防対策を工夫しながら、開催してみませんか。



### どのような講座なの？

「つながるシート」一覧はこちらより【社会教育課】

家庭教育ワークシート「つながるシート」を使って、共通のテーマに沿って自由に意見交換する「井戸端会議」のような話し合いです。学校や園では保護者会や懇談会、家庭教育学級などで行うことが多いです。公民館や交流センター等で開催する市町もあります。「つながるシート」には、生活習慣、ほめ方・叱り方、親の心構え、ケータイ・スマホルールなどさまざまなテーマがあり、先生方やPTAの方にも活用していただけます。

### 家庭教育支援員が先生方の負担を軽くします！

家庭教育支援員は交流会型家庭教育講座を開催できます。忙しい先生方に代わり、話し合いの進行役を担います。

### 先生方の感想より

家庭教育支援員さんに講座を開催していただいたことで、参観授業の準備に時間をかけられました。



### 参加者の感想より

保護者同士で話せてよかった。

みんな同じように悩んでいるんだ。

いろいろな情報が得られてすっきりしたわ。



※講座開催のご相談や派遣依頼は各市町の生涯学習・社会教育主管課へ【社会教育課 地域家庭班】TEL 054-221-3162

# 令和4年度より あすなるeゼミナールがスタートします!!

## ～学校に居ながら知識をアップデートしませんか～

### あすなるeゼミナールとは…

総合教育センター希望研修の中の外部講師等による講義・講演部分を、オンラインで視聴できるものです。

校種による制限はありませんので、他校種の内容も視聴することができます。

「学びたいけれど終日の研修に参加することは難しい」という方、「さまざまな講義・講演をぜひ聴いてみたい」という方など、皆様の視聴をお待ちしております。

視聴方法	①Zoomを利用したリアルタイム型 研修日に講義・講演の時間のみ視聴します。 ②研修管理システムを利用したオンデマンド型 視聴開始日以降に各自で視聴をします。 ※視聴履歴をシステムで確認することができます。
申込方法	研修管理システム ※申込方法は、希望研修と同じです。

対象研修一覧は「令和4年度 研修ガイドブック」でご確認ください。ガイドブックはセンターホームページからもご覧いただけます。ホームページはこちら



【総合教育センター 総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班】TEL 0537-24-9706

# 静岡県に山村留学を!

## 掛川市倉真の取り組み

児童の減少に伴う倉真小学校の存続問題に直面する中、掛川市倉真地区まちづくり協議会は、都市部の親子を対象にした山村留学の受入れに取り組んでいます(ふじのくに関係人口創出・拡大モデル事業に採択)。

同協議会が主体となり、倉真小学校や掛川市と連携しながら山村留学の受入れ体制の整備と情報発信を行っています。



令和3年12月に、山村留学に関心のある親子4組10人を受け入れ、小学校の見学や門松づくりなどの地域見学会を開催し、地域住民と交流を図りました。



くらみ里山留学HP

【総合政策課】TEL 054-221-2184

# 東海道シグマでは、介護に関する各種研修を実施しています。

詳細はお気軽にお問い合わせください。

介護福祉士実務者研修

介護職員初任者研修

生活援助従事者研修

介護入門的研修

福祉用具専門相談員養成研修

家政士養成研修

会場 シグマカレッジ沼津駅前校  
沼津市大手町3-2-20 サンフォービル5F  
(JR沼津駅南口より徒歩3分)

シグマカレッジ静岡校  
静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F  
(JR静岡駅北口より徒歩5分)

シグマカレッジ浜松駅南校  
浜松市中区砂山町353-3 大塚ビル6F  
(JR浜松駅南口より徒歩3分)



少人数制の講座で感染症予防のための対策を積極的に進めています。

お問合せ先



東海道シグマ 地域福祉支援事業部  
静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F 人材派遣業(派22-010009)・人材紹介業(22-ユ-010028)

TEL 054-255-4259

受付時間 / 平日9:00~17:30

東海道シグマ介護

http://www.sigma-jp.co.jp/landing/medicalcare/care/

